

いしかわ  
百万石  
文化祭  
2023



第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭

いしかわ百万石文化祭 2023

# 太鼓の祭典

2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭連携事業



【日 時】 2023年 **10月15日** (日)

【会 場】 **金沢歌劇座 大ホール**

〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地

主 催：文化庁／厚生労働省／石川県／石川県教育委員会／金沢市／金沢市教育委員会／  
いしかわ百万石文化祭2023実行委員会／いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会／



日本太鼓財団  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管：公益社団法人 石川県太鼓連盟／日本太鼓財団石川県支部

特別協力：北國新聞社／一般財団法人 石川県芸術文化協会／株式会社 浅野太鼓楽器店

協 賛：Supported by  **日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION**

後 援：テレビ金沢／MRO北陸放送／エフエム石川／石川県観光物産館／北陸三県太鼓協会

※会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。



# ご挨拶

文部科学大臣

盛山正仁

第38回国民文化祭が、10月14日から11月26日までの44日間にわたり、石川県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で38回目を迎えます。

石川県は、農山漁村の原風景や多様な生物資源など世界農業遺産に認定された能登の里山里海、霊峰白山に代表される多彩な植生を見せる山々など、豊かな自然に恵まれた地域です。また、江戸時代に花開いた加賀百万石文化が現代に息づいており、藩政期の面影をとどめた美しい街並みなど、数多くの貴重な文化財が残されているほか、優れた伝統工芸や伝統文化が脈々と受け継がれています。

本大会に参加される皆様には、石川県ならではの文化や自然を肌で感じていただくとともに、本大会のキャッチフレーズである「文化絢爛」のとおり、石川県が誇る文化が本大会を通じてより一層磨かれ、国内外に発信されていくことを心から祈念しております。

また、本大会は、「いしかわ百万石文化祭2023」として、第23回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

本年5月には、G7富山・金沢教育大臣会合が開催され、今後の教育の在り方を議論できたほか、世界各国の関係者に石川県の文化に触れていただく機会となりました。文部科学省としては、文化庁の京都移転を契機に、文化芸術による地方創生など我が国の文化行政の更なる強化に取り組んでまいります。

結びに、開催に当たり格別の御尽力を頂きました石川県、開催市町、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。



## ご挨拶

厚生労働大臣

武見敬三

「いしかわ百万石文化祭2023」の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。石川県での全国障害者芸術・文化祭の開催は、今回が初めてとなり、「第38回国民文化祭」及び「第23回全国障害者芸術・文化祭」を一体開催できることを喜ばしく思っております。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、障害に対する国民への理解を深めることにより、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。また、国民文化祭との一体的な開催により、障害の有無に関わらず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながることを祈念しております。

本大会は、「文化絢爛」をテーマに、加賀百万石に代表される歴史ある石川県を舞台に開催される文化・芸術の祭典となっています。このうち、障害者芸術・文化祭事業においては、障害のある人の文化芸術活動の発表の場である、「きらめく傘のアートプロジェクト」や「きらめく個性！全国障害者作品展」のほか、「手話狂言」や「バリアフリー映画上映会」等も開催され、まさに「文化絢爛」というテーマに相応しい多彩なイベントが開催されます。この機会に、障害の有無に関わらず、多くの方々が共に魅力ある作品に触れて楽しんでいただき、障害のある方の活躍の場が一層広がっていくことを期待しております。

また、厚生労働省では、本大会と連携し全国各地で障害者芸術・文化イベントを行う「サテライト開催事業」を実施することとしており、これにより石川県の芸術・文化の魅力を全国に伝えていくことも期待しております。

結びになりますが、本大会の開催に当たり、格別の御尽力をいただきました石川県、開催市町村、芸術文化団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げて、私からの挨拶といたします。

太鼓の祭典



# ご挨拶

石川県知事

馳 浩

第38回国民文化祭及び第23回全国障害者芸術・文化祭である「いしかわ百万石文化祭2023」が、10月14日から11月26日の44日間、ここ石川の地で盛大に開催できますことは大変喜ばしいことであり、ご参加いただく皆様に心から歓迎いたします。

本県にとって、国民文化祭の開催は31年ぶりとなりますが、この間、県立音楽堂や国立工芸館などの施設が整備されたほか、金沢城公園の史実に沿った復元整備も進んでいます。さらには、「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定され、本年5月には「白山手取川ジオパーク」がユネスコ世界ジオパークに認定されるなど、本県の文化の土壌に一層の厚みが加わっています。

本大会では、加賀百万石の歴史や伝統文化のほか、豊かな自然や多彩な食文化、祭りや温泉など、石川ならではの幅広い文化の魅力に触れることができる様々なイベントを、「文化絢爛」をキャッチフレーズに県内全域、19市町すべてを舞台として実施いたします。

大会期間中には、子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、一人でも多くの皆様に、広く県内を巡ってもらい、本県文化の素晴らしさを感じていただく機会にしてほしいと考えています。

また、すべての県民の皆様に、様々な形で主体的にご参加いただくことで、本県の文化の価値を再認識し、誇りと愛着を感じることができる大会を目指してまいります。

本県は、平成27年の北陸新幹線金沢開業により、首都圏との時間距離が大幅に短縮されたことで、文化の発信力は格段に高まりました。そして、本大会の半年後、令和6年春には敦賀延伸による県内全線開業が控えております。

こうした本県文化の魅力を国内外へ発信する絶好のタイミングとなる本大会では、本県にお越しいただく皆様に、県民総ぐるみでおもてなしするとともに、文化を通じた交流をより一層盛んにすることで、たくさんの感動を分かち合い、本県文化のさらなる振興につなげていきたいと考えております。

併せて、本大会と同時期に県内随一の総合芸術祭である「ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭」や「奥能登国際芸術祭」も開催されることから、本県の文化の魅力をより深く楽しんでいただければ幸いです。

最後に、本県での開催に格別のご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。



## ご挨拶

いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会会長  
金沢市長

村 山 卓

「文化<sup>ぶん かが けんらん</sup>絢爛」をキャッチフレーズに、「いしかわ百万石文化祭2023（第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭）」の文化団体事業として「太鼓の祭典」を、ここ金沢市において開催できますことは誠に喜ばしく、全国からお越しの皆さまを市民を代表して心から歓迎申し上げます。

金沢市は、石川県のほぼ中央に位置し、山と海、水と緑など豊かな自然に恵まれ、歴史的な美しいまちなみが今も残り、多様な伝統文化が市民の暮らしに息づく国内有数の文化都市です。古くは、加賀藩前田家の城下町として栄え、加賀友禅や金沢箔、九谷焼などの伝統工芸や、能楽や加賀万歳などの伝統芸能が受け継がれてきました。また、戦災や大きな災害を免れたため、藩政時代からの美しいまちなみが現在でも多く残っており、本市の貴重な財産となっています。

現在、本市ではこれまで培われてきた伝統的な文化を継承・発展させるとともに、独創性のある新たな文化の創造を促進するなど幅広い文化の振興を通して、「世界に誇る文化都市金沢」の実現に向けた取組を進めており、本市の質の高い文化をより身近に感じ、触れることができる機会を数多く創出し、次代の担い手・支え手の育成やまちの魅力を高め、都市としてのブランド力の更なる向上につなげていくことをめざしています。

「いしかわ百万石文化祭2023」は、各種の文化について全国規模で発表、共演し、障害のある人もない人も共に参加して、交流の輪を広げていく国内最大の文化の祭典です。期間中、本市では全国の文化団体の皆さまが出演する音楽や舞踊、伝統芸能などの文化団体事業を開催するほか、本市の特色である工芸や食文化、伝統文化をテーマにした多彩なイベントや文化施設での特別展、障害のある方のアート作品展などの地域文化発信事業を数多く開催し、本市の重層的で個性豊かな文化を国内外に発信していくこととしています。

本日の公演では、石川県太鼓連盟の皆さまによる、多種多様な民俗芸能や伝統行事を紡いできた石川県に育った躍動感あふれる太鼓演奏でオープニングを飾っていただくとともに、全国各地から集まった伝統・創作太鼓団体の皆さまの一条乱れぬ勇壮で躍動感あふれる太鼓のパフォーマンスを全身で体感いただき、その響きを心ゆくまでお楽しみください。

お越しいただいた皆さまには、「いしかわ百万石文化祭2023」を存分に楽しんでいただくことはもちろんのこと、是非この機会に本市の歴史的な建造物やまちなみと、歴史と伝統が反映された暮らしや食文化などにも触れていただき、金沢の魅力を心ゆくまでご堪能いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にご尽力をいただきました公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部など関係する多くの皆さまに深く感謝申し上げますとともに、「太鼓の祭典」の成功を祈念いたしまして、挨拶いたします。

# 太鼓の祭典



## ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団  
理事長

大澤 和彦

このたび、第38回国民文化祭第23回全国障害者芸術・文化祭いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」が、ここ石川県金沢市において盛大に開催できますことは誠に喜ばしいことであり、ご来場いただきました皆さまには心より歓迎申し上げます。

日本の太鼓は、太鼓に向かう真摯な態度や団体演奏に必要なチームワークの大切さから「礼と節」が備わることを評価され、青少年の健全育成に大きな効果をあげております。さらに全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害のある方の療育に効用があることが立証されております。年齢層は幼年の子供から高齢者までと幅広く、女性の参加も増えていることから、太鼓愛好者はまさに老若男女に広がっています。

このように日本太鼓の人気の高まる中、本日は全国から様々な太鼓団体が演奏いたします。さらに台湾からの参加に加えて障害のある方々の太鼓団体も出演し、「太鼓の祭典」が開催されることは誠に時宜を得たものであります。

来場されたお客様には、この機会を楽しみに今日まで練習を重ねてきました各団体の特色あふれる太鼓演奏を最後までごゆっくりとお楽しみいただきたいと存じます。また、太鼓体験コーナーがございますので、普段なかなか触れる機会のない方もこれを機にお試しいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

本祭典の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、そして当財団が多大なご支援をいただいております日本財団ならびにボートレース関係者、主管の公益社団法人 石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



## ご挨拶

日本太鼓財団石川県支部  
支部長

米田直樹

第38回国民文化祭第23回全国障害者芸術・文化祭である「いしかわ百万石文化2023」をここ石川の地で盛大に開催できます事は大変喜ばしく、本日の「太鼓の祭典」に、ご参加頂く、皆様を心から歓迎いたします。

本県にとっては、国民文化祭の開催は31年ぶりとなり「文化絢爛」をキャッチフレーズに11月26日までの44日間にわたり県内全域を舞台として開催されています。

石川県においては太鼓といえば、祭りと深いかかわりを持つ能登地区の太鼓、温泉と結び付いて発展してきた加賀地区の太鼓、農村の虫送り行事と関係の深い加賀・金沢地区の太鼓など、地域的な特色と一体化したものです。

それぞれに、使う太鼓の種類も、演奏者の人数も、演奏するリズムパターンも異なっており、各地区はそれぞれの特色を守りながら、新しい様式を取り入れつつ活発な活動を続けています。

本日、この会場での「太鼓の祭典」は、地元石川県をはじめ、全国より伝統・創作太鼓の団体が一同に集います。各地の勇壮な太鼓の競演をご堪能下さい。

結びに、本祭典の開催にあたり、格別なご支援、ご協力を頂きました関係する多くの皆様に心から深く感謝を申し上げて、ご挨拶と致します。

# 太鼓の祭典

第38回国民文化祭第23回全国障害者芸術・文化祭  
いしかわ百万石文化祭2023

「太鼓の祭典」  
プログラム

Ishikawa Hyakumangoku Cultural Festival 2023  
The 38th National Cultural Festival  
The 23rd National Arts and Cultural Festival for People with Disabilities  
“Taiko Festival”

オープニング 10:30

公益社団法人 石川県太鼓連盟 石川県 ..... 10  
Ishikawa Taiko Union from Ishikawa

金沢市長 村山 卓  
日本財団 理事長 尾形 武寿  
公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義  
日本太鼓財団石川県支部 支部長 米田 直樹

第一部

1. もろえ夢太鼓 鼓太郎・鼓太姫 石川県 ..... 10  
Moroe Yume Taiko Kotaro and Kotahime from Ishikawa
2. 華音 神奈川県 ..... 11  
Kaon from Kanagawa
3. 太鼓童子こかぶ広島 広島県 ..... 11  
Taiko Doji Kokabu Hiroshima from Hiroshima
4. 天徳幼稚園 保護者サークル 天悠楽 石川県 ..... 12  
Tenyuraku from Ishikawa
5. 甲斐乃和太鼓 心響会 山梨県 ..... 12  
Kai-no-Wadaiko “Shinkyo-kai” from Yamanashi
6. 御璃刃 三重県 ..... 13  
Orijin from Mie
7. 山梨県立笛吹高等学校 すいれき太鼓部 山梨県 ..... 13  
Fuefuki High School Suireki Taiko Club from Yamanashi
8. 栃木県太鼓連盟 栃木県 ..... 14  
Tochigi Taiko Federation from Tochigi
9. 九谷太鼓若獅子組 石川県 ..... 14  
Kutani Taiko Wakajishi-kumi from Ishikawa
10. 田上本町たいこ倶楽部 石川県 ..... 15  
Tagami Honmachi Taiko Club from Ishikawa

|                                                   |     |    |
|---------------------------------------------------|-----|----|
| 11. 荒尾太鼓<br>Arao Taiko from Kumamoto              | 熊本県 | 15 |
| 12. 法領田獅子踊り保存会<br>Horyoda Shishi Odori from Iwate | 岩手県 | 16 |
| 13. 十五鼓乃会<br>Jugo Tuzuminokai from Hiroshima      | 広島県 | 16 |
| 14. 朝霞太鼓<br>Asaka Taiko from Ishikawa             | 石川県 | 17 |
| 15. 大治太鼓保存会<br>Oharu Taiko from Aichi             | 愛知県 | 17 |
| 16. 輪島高洲太鼓<br>Wajima Koshu Taiko from Ishikawa    | 石川県 | 18 |

## 第二部

|                                                                                                |      |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| 17. あき銭太鼓 水代会<br>Aki Zeni-Taiko Suiwa-kai from Hiroshima                                       | 広島県  | 19 |
| 18. 和太鼓 サスケ<br>Sasuke from Ishikawa                                                            | 石川県  | 19 |
| 19. 武蔵駒王太鼓<br>Musashi Komao Taiko from Saitama                                                 | 埼玉県  | 20 |
| 20. 群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部 飛翔<br>Annaka General Academic High School Taiko Club “Hisho” from Gunma | 群馬県  | 20 |
| 21. 和太鼓 つばき<br>Tsubaki from Ishikawa                                                           | 石川県  | 21 |
| 22. 地獄太鼓<br>Jigoku Taiko from Hokkaido                                                         | 北海道  | 21 |
| 23. 美濃国 高賀山太鼓<br>Minokoku Kokasan Taiko from Gifu                                              | 岐阜県  | 22 |
| 24. 打族 (Da-zoku)<br>Da-zoku from Ishikawa                                                      | 石川県  | 22 |
| 25. 打吹童子ばやし・和太鼓 LEGEN 童<br>Utsubuki Doji Hayashi and Wadaiko Legend from Tottori               | 鳥取県  | 23 |
| 26. 出城虫送り太鼓保存会<br>Dejiro Mushiokuri Taiko from Ishikawa                                        | 石川県  | 23 |
| 27. 開成水神雷太鼓保存会<br>Kaisei Suijin Kaminari Taiko from Kanagawa                                   | 神奈川県 | 24 |
| 28. 赤熊太鼓保存会<br>Syaguma Taiko from Saga                                                         | 佐賀県  | 24 |
| 29. 手取亢龍太鼓保存会<br>Tedoru Koryu Taiko from Ishikawa                                              | 石川県  | 25 |
| 30. 葫蘆墩 Smile 太鼓團<br>Huludun Smile Taiko from Taiwan                                           | 台湾   | 25 |
| 31. 松本敏春 (加賀の太鼓「無限」)<br>Toshiharu Matsumoto, Kaga-no-Taiko “Mugen” from Ishikawa               | 石川県  | 26 |

# 太鼓の祭典

### 第三部

#### ゲスト団体 (Guest Teams)

- |                                                                         |     |    |
|-------------------------------------------------------------------------|-----|----|
| 32. 橘太鼓「響座」ジュニア<br>Tachibana Taiko "Hibikiza" Junior Team from Miyazaki | 宮崎県 | 27 |
| 33. 銚子はね太鼓保存会<br>Choshi Hane-Taiko from Chiba                           | 千葉県 | 27 |
| 34. 加茂綱村太鼓<br>Kamo Tsunamura Taiko from Miyagi                          | 宮城県 | 28 |
| 35. 岐阜県太鼓連盟 獅子の会<br>Gifu Taiko Federation Shishi-no-kai from Gifu       | 岐阜県 | 28 |
| 36. 高野右吉と秩父社中<br>Ukichi Takano and Chichibu Shachu from Saitama         | 埼玉県 | 29 |
| 37. 豊の国ゆふいん源流太鼓<br>Yufuin Genryu Taiko from Oita                        | 大分県 | 29 |

### 太鼓体験コーナー

場 所：舞台上

時 間：第1部終了後の休憩時間（日本太鼓財団石川県支部）

### ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
- マスクの着用はお客様の判断におまかせしますが、咳エチケットにはご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

こう えき しゃ だん ほう じん いし かわ けん たい こ れん めい  
公益社団法人 石川県太鼓連盟 石川県



演奏曲

ひ しょう とき  
飛翔の刻

朝霞太鼓  
田上本町たいこ倶楽部  
打族 (Da-zoku)  
九谷太鼓若獅子組  
出城虫送り太鼓保存会  
和太鼓 サスケ  
和太鼓 つばき  
輪島高洲太鼓

2018年に設立し、2023年度現在、石川県内で75団体の加盟と約1,200名の会員が所属しており、本日も加盟団体の中から参加者を募り、合同で演奏されています。

今回の演奏曲「飛翔の刻」という曲は、毎年6月に開催される「金沢百万石まつり」を元にしており、前田利家侯の入城をイメージして作曲されています。この曲は地元の文化と伝統を大切にする気持ちが込められており、能登と加賀の伝統文化のフレーズを一部取り入れています。篠笛で前半と後半の曲の流れが変わります。使用する太鼓は「大太鼓」「長胴太鼓」「締太鼓」の3つと限られたパートしかありませんが、その三重奏の音色をお楽しみください。

ゆめ だい こ こ た ろう こ た ひめ  
1 もろえ夢太鼓 鼓太郎・鼓太姫 石川県



演奏曲

だい ち き きょう  
大地 / 輝響

代表者：福島 美智子  
洲崎 ゆめ／洲崎りんな  
荒川 颯志／若宮 帆香  
北 ひのき／北 こうめ  
中川 創太

子どもたちの放課後の居場所作りと、学年を超えた深い関係性を大切に2003年に設立されました。地域内外のイベントに参加、コンサートを行ったりジュニア太鼓コンクールに出場するなどの演奏活動を行っています。チームワーク抜群のメンバーです。

「大地」は、大地の強さ、優しさを受け取りながら、この地球とともに生きる人間の喜びを表現しています。締太鼓と長胴太鼓・桶太鼓の力強い掛け合いがある曲となっており、締太鼓のソロパートの細かなリズムにご注目ください。

「輝響」は、太鼓の響きが時にはやさしく、時には強くかがやきを放っていく様子を表現しており、小さな音の響き、大きな音の響きまで強弱のある曲になっています。初めてセット楽器を演奏するメンバーばかりで、体を大きく表現できるように頑張って演奏します。

## 2 か おん 華音

神奈川県



演奏曲

はな さ はな む ころ  
華咲くとき / 華やかに無の心

代表者：渡邊 晃伸

佐野 智子 / 竹井 文華 / 本田 凌大  
茂木 柚奈 / 横井亜希子 / 篠崎 雄太  
大滝 博貴 / 境 江里子 / 卯月 幸  
石上 繁 / 石上 紋奈 / 重田ちさと  
毛塚さおり / 五十嵐英里 / 柴戸 歩  
好田知佐子 / 祝 知栄美 / 江下 佳子  
武田麻由奈 / 赤根 広志 / 佐藤 昌宏

和太鼓教室に通う主婦たちが中心に華やかで太鼓の音色を楽しむことを目的に2006年に横浜を活動の拠点として結成されました。現在では20人ほどのメンバーで活動しています。

「華咲くとき」は華音のオリジナル曲として篠笛を中心とした楽曲です。まさに華が咲く瞬間をモチーフにしており、篠笛から始まり太鼓が加わっていき、ゆっくりとしなやかな音色を表現しています。前方で演奏している篠笛にご注目ください。

「華やかに無の心」は今年作曲された曲で、華やかな太鼓表現を取り入れた演目であり、曲の構成により無の境地に立ち無心に太鼓を打ち込む曲です。スピード感あるスタートから篠笛を挟み、激しいフレーズに変化し、デクレッシェンドで終止します。途中の締太鼓ソロを特にご覧ください。

## 3 たい こ どう じ ひろ しま 太鼓童子こかぶ広島

広島県



演奏曲

ながつか き や うた ながつかまつりだい こ  
長束木遣り唄 / 長束祭太鼓

代表者：土井 裕文

野田 桜果 / 村賀 天祐  
林谷 鷹司 / 河本 智愛  
野田 飛翔 / 田中鼓汰朗  
河西 千尋 / 長嶋 千寛  
山本啓太郎 / 足袋井 新  
河本 純愛 / 中村兼太郎  
林谷 惟司 / 安長 大翔  
中村 清道 / 林谷太維司  
根石 寛大

伝統楽器である和太鼓に触れ、演奏する楽しさを通じて仲間と協調する喜びや、のびのびとした自主性と自信を身につけてほしいという願いのもと2002年に広島を拠点に活動する和太鼓音楽集団「太鼓本舗かぶら屋」の子どもクラスとして設立されました。

「長束木遣り唄」は広島市長束地区に伝わり、棟上げや地域のお祝い事などで歌い継がれている木遣り唄です。

「長束祭太鼓」は地元氏神、そして広島の三角州を形成する太田川の総水神でもある「ながつかさま」の夏越祭で毎夏演奏奉納されている演目で、小学校でも演奏されており地域に根ざした無病息災を願うお囃子です。

シンプルで楽しいリズムと一体感があり、それぞれのパートの見せ場の気迫にご注目ください。

## 4 てん とく よう ち えん ほ ご しゃ てん ゆう らく 天徳幼稚園 保護者サークル 天悠楽 石川県



演奏曲  
はるか あ だい こ  
悠 / ぶち合わせ太鼓

代表者：山本 知佳

寺地亜希子／高 範子  
福島 稔子／田中 宜子  
井口 朋子／吉田 安芸  
金田真里子／越前 恭子  
大坪万紀子／羽澤 麻未

前田家ゆかりの地、天徳院にある天徳幼稚園の太鼓サークルで、太鼓の楽しさを知った保護者2名の呼びかけにより1999年に設立されました。現在は、卒園したメンバーも一緒に活動し、太鼓を通じた豊かな日常に感謝しながら楽しんでいます。

「悠」は、笛の音色から始まり、はんなりとした様子から力強く壮大な曲調へと変化します。音の掛け合い、そして美しい笛の音色とやわらかな旋律に注目してください。

「ぶち合わせ太鼓」は、海南神社の祭礼で演奏される曲で、漁師たちが大漁を祈りながら心をつなげて叩く太鼓とされています。ゆっくりとしたリズムから始まり、次第に激しさを増していきます。回し打ちから続く高揚感溢れる打ち上げが見どころです。

## 5 か い の わ だい こ しん きょう かい 甲斐乃和太鼓 心響会 山梨県



演奏曲  
とき ね ひと  
時の音は人と

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／斉藤 里恵  
斉藤三輝成／狐塚 亮  
山地 隆公／遠藤 大成  
神田 弘樹

2015年設立の団体で、障害者が和太鼓を通じて積極的に社会参加を促すこと、和太鼓の振動を利用したリハビリテーション効果を期待して始めました。健常者と障害者が協力し、和を大切に活動しています。

演奏曲は、日本人と和太鼓の音の歴史を時の刻みになぞらえ、人々の日々の時間と想いを音に変換し、希望や目標に繋がるよう作られました。この曲は日本の四季を象徴し、厳冬を乗り越えた春の生命力から秋の収穫、再び訪れる冬へと進む自然の営みを表現しています。

特に、開始時の大太鼓の響きや、自然の中に遠くから聞こえるかのような銅鑼の音、オカリナの素朴な音色に注目し、四季の変化を感じてください。

# 6 おりじん 御璃刃

三重県



演奏曲

らい こう うい じん  
雷轟 / 初陣

代表者：神谷 敏志

中西隆一郎 / 庄子 和彦

鈴木 貴博 / 南条 泰正

高校時代の同級生を中心に構成されたチームです。高校の文化祭をきっかけに太鼓同好会を設立し、翌年、太鼓部として活動を開始しました。卒業後、2006年から社会人チームとして活動を継続しています。

御璃刃はその名の通り、「刃」をイメージしたチームで、戦いのような激しさや仲の良さを生かした掛け合いを曲に盛り込んだ2曲を本日演奏されます。

「雷轟」は複数のパートが掛け合いを行います。掛け合いで用いたフレーズは最後に1つになって入り乱れます。一見するとバラバラに聞こえますが、それぞれのフレーズを生かした激しさを表現します。

「初陣」は随所で刃をイメージした所作を盛り込み、戦いの激しさを表現しました。これから戦いに向かう高揚感を表現できるかお楽しみください。

# 7 やまなしけんりつふえふきこうとうがっこう 山梨県立笛吹高等学校 すいれき太鼓部 山梨県



演奏曲

えん ろくじゅうろく ばん  
炎 / 六十六番

代表者：村上 吉利

本間 美羽 / 大木 聖美 / 天野 美空  
川口鈴乙音 / 森 愛華 / 塩島 桜音  
高橋美桜里 / 赤尾 一輝 / 小野田真名  
川端 蒼空 / 深澤 優介 / 榎並 陽菜  
国本 彩花 / 坂本 舞珠 / 日野原優妃  
石原穂乃香 / 高橋 詩美 / 雨宮 小梅  
奥津 朱妃 / 石原 千聖 / 熊丸さくら  
武藤 花夢 / 三枝ひなた / 近藤 小春

1997年に設立された部活動で、地元を中心に26年間活動しています。「すいれき」とは、前身の高校が緑滴の環境「翠櫟」にあったことに由来しています。

1曲目は、序盤はスローな展開ですが、甲府囃子と作者の世界観を調和させた静かな展開からハイテンポな物にガラリと変化し激しい展開へと進行します。早いテンポの中で展開され、曲のコントラストに合わせた音の強弱や振り等、情熱をもって演奏する様にご注目ください。

2曲目は、楽しさを追求した楽曲で、締太鼓の軽快なシャッフルリズムから始まり、徐々に音が重なっていき、最後まで明るく楽しい雰囲気が広がります。是非会場の皆様も手拍子で参加していただき、出演者と共に太鼓を楽しんでください。

## 8 栃木県太鼓連盟

栃木県



演奏曲

け 華 こん 嚴

代表者：上 龍

|    |        |    |
|----|--------|----|
| 上  | 新／大島   | 裕香 |
| 小森 | 瑛太／成瀬  | 葵  |
| 大門 | 玲実／上   | 大蔵 |
| 湯澤 | はるか／信太 | 萌果 |
| 大門 | 来恭／齊藤  | 幹介 |
| 青野 | 友香／田村  | 心柊 |
| 小川 | 真朋／齋藤  | 海  |
| 齋藤 | 皐我／渡邊  | 宗嚴 |
| 青野 | 有希／上   | 源  |
| 小川 | 陽菜／伏見  | 彰悟 |

栃木県における和太鼓の伝統伝承及び普及・振興を図り、併せて会員の指導並びに相互の親睦と融和に務め、県文化全体の発展に寄与することを目的に、1999年に設立されました。

「華嚴」は、栃木県の大規模イベントにおいて、所属団体が一体となってお客様をおもてなしするために作曲されたもので、「華嚴の滝」の荒々しさ、その滝を包む大自然の雄大さを表現しています。

導入は滝の水源となる中禅寺湖を表し、続いて「締太鼓ソロ」、「宮太鼓ソロ」、「大太鼓ソロ」が滝へ向かう途中で様々に変化する水路の表情を見せ、最後に奏者全員で華嚴の滝の豪快な迫力を魅せます。

大太鼓の力強さ、締太鼓のテクニック、据置と斜めの宮太鼓の競演、そして全員一丸となった時の大迫力の演奏をお楽しみください。

## 9 九谷太鼓若獅子組

石川県



演奏曲

りゅうさい 流彩 / こ こん さい さい 古今彩彩

代表者：村野 里佳

|    |       |    |
|----|-------|----|
| 中川 | 紗里／岡山 | 友香 |
| 北川 | 晴都／小林 | 葉加 |
| 村野 | 皓也    |    |

「たやすな九谷の灯を」との掛け声とともに1979年に旧能美郡寺井町の小学校児童を対象に設立されました。近年では中学生・高校生も所属しており、能美市内の活動だけでなく「金沢百万石まつり」のような大きな舞台でも演奏させて頂いたり、活動の幅を広げています。

演奏する曲は、序、急、破の3部構成。序は三下りのゆったりとした曲調で舞をイメージし、急ではテンポアップに加え、音の強弱をだし、曲の終盤で組み太鼓の細かいリズムを全身で表現しています。

特に序の、加賀太鼓の三下り。三つ打ちのリズムと篠笛の音色の心地よい重なり。そして、長胴太鼓のパチさばきや、“間”を大切に作り上げた演奏にご注目ください。

# 10 田上本町たいこ倶楽部

石川県



演奏曲

えんぶ ほうねんだいこ  
炎舞 / 豊年太鼓

代表者：岡本 明男

朝本 穂華 / 朝本 純子  
武市 明美 / 中谷 朋美  
太田由香里 / 向峠 實  
大浦まどか / 元田 直美  
高間 智美

今年設立10年を迎える田上本町たいこ倶楽部は、農村に伝わる豊年を願う太鼓と、新興住宅地をいざなう新しい力強い太鼓をどちらも伝承すべく結成されました。地域の子どもの育成にも関わり、最初は子どものみでしたが、今は大人も影響され仲間に加わりました。

本日演奏する1曲目「炎舞」は、この世の災いを燃やし尽くすような力強い音を表しています。キレのある息の合った動きの舞にご注目ください。

2曲目「豊年太鼓」のテーマは、農村での1年です。春には五穀豊穡、秋には収穫、そしてその喜びを表現し、伝統的なお祭りのリズムで披露します。

全く雰囲気異なる2曲をお楽しみいただければ幸いです。

# 11 荒尾太鼓

熊本県



演奏曲

あり あけ  
有 明

代表者：古賀 清子

栄 大規 / 江崎慎太郎  
成清 量子 / 瀬ノ田 聖  
江崎公志朗 / 須古井皇志

「荒尾が大好き！太鼓が大好き！だから、太鼓をたたいて荒尾に夢と希望を響かせよう！」という思いが募り、1990年に結成されました。現在、5歳から50代までの約30人が練習に励んでおり、大人との交流を通して、子どもたちの健全育成にもつながるようにと活動されています。

今回の演奏曲は、活動拠点の熊本県荒尾市に面している有明海をテーマにしています。穏やかな海の情景と、火の国熊本の力強さを曲に込め、荒尾の魅力を感ぜられる曲です。

静かな音から入り、鳴り物や扇子を使って、夜明けの海を表現しています。太鼓が入ってからは弾むようなリズムと組太鼓を使った転調で場面転換し、クライマックスへと展開していきます。

# 12 法領田獅子踊り保存会 岩手県



演奏曲  
ほうりょう だ し し おど  
法領田獅子踊り

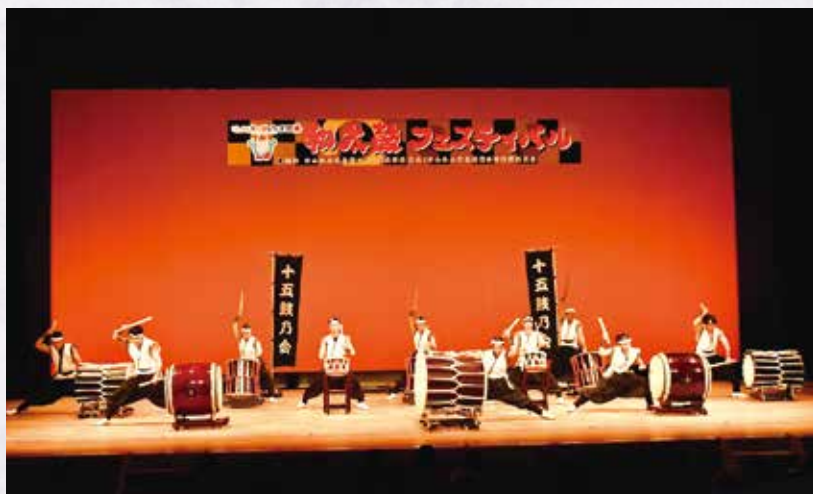
代表者：大櫻 哲男

古川 勇治／北田美奈子  
佐藤 春妃／伊藤 政治  
大櫻 裕之／北田 真輝  
昆野 柊子／大櫻 俊士  
佐々木真輝／佐藤 優斗  
佐々木 聡／藤原 均  
佐々木将士／千葉 正樹  
昆野 惇平／古川かさね  
古川 柊治／藤原 翔矢

法領田獅子踊りは南部光行公の甲斐より奥州に下向する際、道中安泰・願望成就・豊年の神として竜頭の獅子を同行したのが始まりとされ、農民に受け継がれてきました。1885年に途絶しましたが1956年に盛岡農業高校乙部分校生徒の復興活動で再燃し、1967年の伝承活動の活発化に伴い保存会が設立されました。1980年以降地元学生への伝承活動が行われています。

歩き太鼓を打って入場し、複数の踊りを披露した後、2列になって、最も太鼓の音と獅子等の演舞が揃って見られる穀田切りを踊ります。大人だけではなく、小中学生も交えての演舞です。子ども達の踊りもぜひご覧ください。今回は能登の地震被災者の方々を想い、同じ被災県の岩手代表として、激励の気持ちを込めて踊ります。

# 13 十五鼓乃会 広島県



演奏曲  
こん ぎょう れん ま せん い ふき  
金剛鍊磨／仙の息吹

代表者：森 幸治

橘高 崇／坂本 汐梨  
田邊壮多郎／竹本 晴哉  
森 彩音／武田 芽粋  
武田 大和／村上 大心  
寄森 大勢／村田 愛実  
石井 煌基／戸田 大翔  
竹内 哲志／原 圭佑  
戸田 樹／延藤 瑞季

2005年に広島県府中市で、太鼓ユニット「我龍-GARYU-」の竹内孝志氏によって和太鼓を発信することと、子どもたちに指導し担い手を育てることは同じくらい重要であるという目的で設立されました。

1曲目「金剛鍊磨」は正確な早打ちをもって純粋な和太鼓の音、技術力を表現し、空間に緊張感を与え、エネルギーが高まったまま次の曲に繋がります。

2曲目「仙の息吹」は比婆山連峰から流れる雪解け水が谷間に春をもたらす風景を表現しています。楽しくアップテンポな雰囲気観客と一体になる舞台が広がり、限られた時間の中でコンサートのような起承転結を作り出します。

努力と逞しさ、自然の循環と希望を象徴する2曲を演奏することで和太鼓をいかに自分なりに理解しようとしているかというところにご注目ください。

# 14 朝霞太鼓

石川県



演奏曲

ゆう やく ほう じょう  
勇躍 / 豊穰

代表者：村上 敏徳

村上 碧唯 / 野口 佳音  
川崎 裕貴 / 野口 翔生  
腰越 光琉 / 中村 和来  
坂本 優花 / 中村由布子  
腰越 琉衣 / 腰越 友紀  
村井あかね / 藤浦 由奈

石川県の河北潟周辺の集落に古くから伝わる「朝霞」というめでたい時などに唄われた祝い歌にちなんで名付けられた和太鼓チームです。自然からの恵みへの感謝や、人と人とのつながり、「笑顔の輪」の大切さを和太鼓で表現することを目指しています。地元、津幡町での「八朔祭り」や福祉施設でのボランティア活動、金沢市の「百万石まつり」等で演奏活動をしています。

本日の1曲目「勇躍」は躍動感あふれる曲です。テンポも軽やかで楽しめる曲となっています。腹筋で体を支える打ち方が出てきますので注目していただければと思います。

2曲目「豊穰」は五穀豊穰、無病息災を祈って打つ組曲です。お祭りのように賑やかに演奏します。

# 15 大治太鼓保存会

愛知県



演奏曲

や かたかぐら しんぐる ま しゅんしゅん  
屋形神楽 / 神来舞 / 駿々

代表者：若山 善之

若山 和之 / 西村 陽介  
小林 紅璃 / 上原かなな  
若山十和己 / 宇佐美愛音  
橋岡 季亜 / 加藤 大明  
若山沙千代 / 鈴木ななみ

江戸時代より尾張地方の農村地帯では、祭礼時に五穀豊穰と住民の安全を願い、太鼓を打ち鳴らす風習がありました。戦争などの影響で一時途絶えかけたものの、各町内で細々と神楽太鼓が伝承され、1981年に大治町の郷土民俗芸能として普及・保存を図るため太鼓教室を開催されました。そして、ふるさと創生事業の一環として町独自の芸能を育成する気運が高まり、1992年9月に「大治太鼓保存会」として発足されました。

1曲目は尾張地方の村々で祭礼時に太鼓を据えた屋形神楽を引き廻し太鼓を打ち鳴らします。2曲目「神来舞」は尾張地方の伝統芸能の中でも最も高度な捌き技を要すると言われています。最後の演奏曲は独特のバチ捌きを代表とする尾張の伝統打法と創作打法を融合させて作曲されました。

# 16 輪島高洲太鼓

石川県



演奏曲

わ じ ま ど う ち ゅ う ば や し こ う し ゅ う ひ び  
輪島道中囃子 / 高洲の響き

代表者：中橋 幸雄

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 橋本 | 大輝 | 橋本 | 晃輔 |
| 西中 | 悠智 | 古戸 | 凌雅 |
| 椿原 | 雄翔 | 古戸 | 愛美 |
| 立野 | 鈴花 | 椿原 | 莉穂 |
| 椿原 | 風馬 | 岩谷 | 凌玖 |

輪島市内の小中高生を中心に組織された団体で、2001年11月に設立されました。輪島祭り囃子と創作和太鼓の練習を通じて、親子の絆や青少年の健全育成を促進し、地域の発展に貢献することを目指しています。また、地元の伝統文化を尊重し、各種太鼓のコンテストや県内外のイベントに出演し、地域コミュニティに貢献をしています。

「輪島道中囃子」は伝統的な「輪島祭り囃子」のリズムを演奏しています。2曲目は「輪島祭り囃子」をアレンジした「高洲の響き」を披露します。どちらも毎年8月22日から25日まで行われる「輪島大祭」の雰囲気（雰囲気）を再現しています。

1人が一定のリズムを刻む小撥と、もう1人が独特なリズムを刻む大撥の音色にご注目ください。



# 17 あき銭太鼓 水和会

広島県



演奏曲

ひろしま おんど かわち ぶし  
広島ふれあい音頭 / 河内おとこ節

代表者：水谷 民子

谷口 壽子 / 藤原 幸枝  
井ノ口邦子 / 大島 武子  
渡辺 靖枝 / 櫻井 千秋  
浜田 美子 / 戸坂 寿男  
城 泰子

銭太鼓とは島根県出雲地方に伝わる、銭の入った筒を振って音を出したり、床をトコトコ打ち鳴らす太鼓です。2011年に町内老人会や公民館で銭太鼓を体験してみたいとの声があり、曲に合わせてバチを振ったり回したりして楽しみました。続けてやってみたく希望があり会が発足されました。「広島ふれあい音頭」では、世界遺産宮島で作られている工芸品シャモジを木箱に取り付けた楽器を使用しており、打ち合わせて音を出し表現しております。演奏の終わりはシャモジのついた箱をバンザイの形で手をあげて終わり、2曲目に続きます。「河内おとこ節」はひざに黄色のタスキをおいて音を出し、曲の終わりまで動作があります。

# 18 和太鼓 サスケ

石川県



演奏曲

げん そう いろどり  
幻想 / 色鳥

代表者：石塚 拓矢

奥村 魅音 / 加嶋 虹春  
横内 杏美 / 川口 詩月  
谷口 歩 / 鶴垣 結愛  
太田 幸介 / 寺田 智英  
萩野 裕稀

2003年に石川県で青少年の健全育成を目的に発足。元気いっぱいの少年をイメージし「サスケ」と命名されました。太鼓技術の向上の他に礼儀作法なども舞台出演と日々の練習を通して学んでいます。「幻想」は、様々な音色で独特な雰囲気を作り出し、涼しくも熱のある演奏で大人の一面を見せます。「色鳥」は、渡り鳥の美しい姿を表現しており、羽根を広げるようにバチを振り、風に乗った勢いのある曲想です。見どころとしてメンバーの素早い入れ替わりがあり、美しく力強い打ち込みを会場に響かせたいです。国民文化祭は和歌山・沖縄に続き3度目の出演です。地元石川での開催に花を添えられる様、本日は心を1つに精一杯の演奏をお届けいたします！

## 19 武蔵駒王太鼓

埼玉県



演奏曲

いっしん まいしん  
一心 / 邁進

代表者：嶋田 淨

中村 詩子／小池 慶子  
小澤 望裕／堀野 宇里  
大工原柚果／鈴木 優  
小林 紗椰／堀野 絃  
戸田 杏／池亀 優咲  
戸田 樹／阿部 凌士  
戸田 陽／金子 歩案

団体名は嵐山町で産まれた源義仲公（幼名：駒王丸）に由来します。1990年に設立され、源義仲公の生涯を太鼓で表した曲を創作したことが始まりです。

「一心」は、演奏者が心一つにして、力を合わせて、前向きに進んでいく、私たちの太鼓への思いも音にのせて表現した曲です。チーム全員で応援し、太鼓を打つ喜びを表現しているソロとバラバラに打っている太鼓が一つに重なるところをお見逃しなく。

「邁進」は太鼓の演奏力を高め、聞いてくださる観客の皆様のためにひたすらに太鼓を打ち込み、太鼓の魅力を感じてほしいと願い、作った曲です。チャッパの音とかけ声で祭りの始まりを表しています。強弱の音を大事にして様々な物語を表現していきます。

## 20 群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部 飛翔 群馬県



演奏曲

ひ しょう  
飛 翔

代表者：高橋 章

中山 瑠子／原田 大晴  
浦野 迅／小林 海翔  
大塚 陽貴／矢口 華  
川野 優人／浦野 亜美  
外処 凜久／矢口 遼大

2006年に安中高等学校と安中実業高等学校が統合した際、前身の安中高等学校の和太鼓部を引き継ぎ設立以来17年目になります。現在は17人の部員で「和の精神を大切に、人を思いやる気持ち社会に貢献できる人間形成」をモットーに活動しています。

「飛翔」は山内上杉氏、甲斐武田氏の家臣であった安中重繁がその配下として、後の上杉謙信である長尾景虎の上野侵攻に際して上杉方に参陣し、武田氏と抗争した様子を表しています。

合戦をイメージした曲で、大太鼓が戦う前の緊迫感から突撃までを表現します。その後、締太鼓で騎馬が敵をかくはんし、後退させる様子を描写しています。部隊はゆっくり敵陣を警戒しながら進み最後には敵を急襲し撃破します。

## 21 <sup>わ だい こ</sup> 和太鼓 つばき

石川県



演奏曲

<sup>はな</sup> 花もよひ / <sup>さいさい</sup> 彩祭

代表者：麻田 麻美

栗木 未佑／伊藤 祐奈

玉瀬愛利咲／栗木 乃有

同じ志を持つメンバーとの出会いをきっかけに現在のメンバー4名で2011年4月「和太鼓つばき」が結成されました。県内外にて活動している他、最近では個々の演奏活動や後進の育成にも力を注いでいます。

「花もよひ」とは桜が咲きそうな予感を意味しており、奏者が大きな舞台を目指して成長する姿を表現しています。花が芽吹き、成長し、開花、花びらが舞い散るようにだんだん盛り上がり華やかに曲が展開します。

「彩祭」は山部泰嗣氏作曲で、祭りを彩る太鼓やチャップの音、シャッフルのリズムで盛り上がる祭りを表現しています。担ぎ桶とチャップで盛り上げる動きのあるパフォーマンスや終盤の両面打ちの演奏にご注目ください。

## 22 <sup>じ ごく だい こ</sup> 地獄太鼓

北海道



演奏曲

<sup>ほっかいなが</sup> 北海道流れ打ち / <sup>ほっかいざ</sup> 北海道勇み駒

代表者：櫛引 秀明

喜田 敏広／喜田 秀平

佐々木幸助／岩間 由起

横尾 小鈴／木村 翔太

櫛引 杏月／木村 椿姫

櫛引 大和／遠藤 煌弥

安藤 篤

1965年、橋本光司氏が創始した「登別地獄太鼓」は、札幌を中心に「橋本流地獄太鼓」として活動していましたが、2022年の橋本氏の引退後、本拠地を室蘭に移して二代目「地獄太鼓」として再開しました。その特徴はスピード感と力強さで、体力の限界まで演奏します。

本日の演奏曲は北陸の太鼓を基本に北海道の新しい太鼓芸能を創始された大場一刀氏と北海グループが作曲した「北海道流れ打ち」と「北海道勇み駒」です。それぞれ石狩川の流れと北海道の若駒の活動を太鼓のリズムで表現しています。演奏スタイルは北陸の太鼓を学んだ大場氏を手本にして長胴太鼓を床に直置きし、後ろに大桶胴太鼓を置く形です。

## 23 美濃国 高賀山太鼓

岐阜県



演奏曲

えん くうしょうにん

円空上人

代表者：武藤 兼明

長屋 典保／後藤 浩一

長屋 里奈／金丸 寛

1983年8月に高賀神社を筆頭に多くの歴史、民話、文化が今に伝えられており、素晴らしい自然も残っている高賀地区で発足されました。これらの歴史的遺産や自然を太鼓演奏の中で表現して伝えていくことを使命とし、素朴で伝統的な文化と表現が豊かな現代とを調和して地域の人々により親しみ易い高賀山太鼓を目指して日々活動をしています。

今回演奏する曲は日本全国行脚し、3度高賀を訪れた円空上人をモチーフにしております。円空上人は高賀に滞在中、数多くの仏像と和歌を残し、最後の作品である「カンキテン」を彫ったと言われております。桶太鼓は円空上人を、長胴太鼓は仏像を表現しており、全体では揃い打ち等で音が1つになるところが見所です。

## 24 打族 (Da-zoku)

石川県



演奏曲

そうる

魂 (SOUL)

代表者：林 学志

井村 翼／上田 哲也

樋原 明美／林 由紀

上田 鈴華／上田比香理

槻 俊祐

1994年10月に新しい独自のサウンドを作るべく結成されました。

エネルギーにしてテクニカル、何度見ても何度聴いても飽きない普遍的な価値を迫及し、モットーの「太鼓の響きは魂の叫び」をそのまま具現化した曲「魂 (SOUL)」を演奏します。

この曲の明確な起承転結は、四季折々に表情を変える、私達がこよなく愛する日本海と重なります。重低音パルスの効いた大太鼓のイントロに始まり、高音の締太鼓と鳴り物のコンビネーション、そして迫力のユニゾンを披露します。3人のソリストの個性を活かした演奏の後、迫り来るようなビートでエンディングへと導きます。

曲の中間部分に於けるユニゾン部分の前列のフォーメーション、並びにその後に始まる3人のソロ回しにご注目ください。

# 25 打吹童子ばやし・和太鼓LEGEN童 鳥取県



演奏曲

こ だ ま く み き ょ く  
鼓魂組曲

代表者：村田 速実

牧田 真旺／澤村 若菜／石川 琳子  
西谷 梨世／井上 心日／森田 楓花  
中山 紗穂／柏村 陽向／澤村 日菜  
脇坂 大星／澤村 楓／中田 季助  
市場 遙／長光 星空／石川 晶大  
新田 結恋／松原 蓮奈／木下 智貴  
柏村 華凛／岩山 華音／横田 陽南  
森田結衣花／山白梨偉紗／清永 結音

倉吉に伝わる「天女を想い二人の童子が太鼓と笛を奏でた」とされる打吹天女伝説を伝承するために子どもに笛・太鼓で伝えていこうと1992年7月8日に地域の方々に支えられ、小学生和太鼓連として誕生しました。地域の夏祭りから海外公演まで豊富な演奏経験があり、毎年3月には、地元の文化ホールで自主演奏会も行っています。また2013年には中高生を中心とした和太鼓LEGEN童が新たにスタートしました。

本日の演奏曲は、地域の伝説や元気をテーマにしたオリジナル曲「打吹天女伝説」、「里見伝説 新・八犬伝」等を組曲にしたものです。倉吉の夏祭り「打吹まつり」の初日を盛り上げる「祭囃子」のパートではご来場の皆様も手拍子で盛り上がってください。

# 26 出城虫送り太鼓保存会 石川県



演奏曲

で じ ろ  
出城まつり／こぞる

代表者：木村 義和

北村真一郎／尾形 一  
古川 博人／手取屋和夫  
成田晴太郎／武田 明来  
浅江 悠貴／坂井 菜侑  
徳浜かや乃／成田 桜香  
佃 修弥／松田 幸大

石川県白山市出城地区に古くから伝わる「虫送り太鼓」を復活させる目的で2002年に青年団組織が中心となり結成されました。「虫送り太鼓」とは農民たちが稲を害虫から守るため、初夏の夜に松明を灯し、田んぼ道を回り五穀豊穡を願いながら太鼓を打ち鳴らしたことが始まりとされています。

「出城まつり」はジュニアチームの「蛍心」の代表曲で、地元のまつり太鼓の三ツ打から始まり、後半は虫送り太鼓のリズムに続きます。「こぞる」は、出演者全員でこぞって太鼓を打つことで、楽しさ・勢いを感じてもらえるように演奏します。「出城まつり」では三ツ打パートの長胴太鼓のつばめ返しや虫送りパートの桶胴太鼓の掛け合い、「こぞる」では各ソロパートから全員演奏へと流れる展開が特に見どころです。

## 27 かい せい すい じん かみなり だい こ ほ ぞん かい 開成水神雷太鼓保存会 神奈川県



演奏曲

うたげ さか わ がわすい れい こ きょう

宴 / 酒匂川水麗鼓響

代表者：石井 菊義

鳥海 仁史／村井千賀子  
松沼 裕恭／松沼寿美子  
露木 和也／千葉 浩之  
角田 大地／八峠 裕子  
八峠 奏太／山崎香奈江  
矢野登美枝

開成町のふるさと芸能起し事業で、音楽家寺内タケシ氏作曲により、新しく太鼓曲「開成水神雷太鼓」が創作され、郷土芸能として保存することを目的に1990年度結成されました。

「宴」は、気持ちが跳ねるようなリズムで宴の楽しさを表現した曲で、様々なリズムや動きが見どころです。実はご当地曲となっており、出演にあわせて桶胴太鼓の動きを新しくしています。過去の出演をご覧になった方も違いを楽しめます。

「酒匂川水麗鼓響」は、丹沢の峰に降った一粒の雨から、一筋の流れになり、やがて大きな清流となり、相模湾に流れ込む酒匂川のダイナミックな流れを表現しています。川の流れを表現した宮太鼓による緩急が見せ場になります。

全3章の構成のうち、2章、3章を演奏します。

## 28 しゃ ぐま だい こ ほ ぞん かい 赤熊太鼓保存会 佐賀県



演奏曲

げっ こう ひ

月光 / 炎まつり

代表者：伊東 健

古賀 友輔／高尾康一郎  
相良廣汰郎／江頭 実利  
小倉まゆみ／松永 百里  
荒木真奈美／中村 明子  
中島 遥菜／吉田はるか  
松永 心優／福井 大晃

約600年前に佐賀県吉野ヶ里一帯でおきた「<sup>たてなわて</sup>田手暇の戦い」の際、赤熊奇襲隊が鐘・太鼓を打ち鳴らし戦いに勝利したことをモチーフに地元有志により1986年に佐賀県吉野ヶ里町にて発足されました。

「月光」では、月夜をイメージして笛と太鼓の音を鳴らし、ほんやりと足元を照らす提灯が平和な吉野ヶ里を表現しています。

「炎まつり」は邪馬台国伝説の可能性を秘めた吉野ヶ里町で行われている「吉野ヶ里炎まつり」が由来で、鐘・太鼓を打ち鳴らし卑弥呼伝説の偉大さを音で表しています。

静と動を組み合わせた曲構成をしています。「月光」にて笛と提灯が静かに入場し、その後、「炎まつり」では目が覚めるような大締太鼓、長胴太鼓をお楽しみください。

# 29 手取亢龍太鼓保存会

石川県



演奏曲

て どり ひ まつ  
手取の火祭り / まつり

代表者：北川 進

原田 茂 / 川端 輝雄  
吉田 光勲 / 北川 葉子  
原田 幸代 / 橋本 静香  
原田 夏実 / 川端 亜子  
原田 結実 / 橋本 萌々香  
北川 陽菜 / 原田 恵実

1990年に地域おこしの一環として設立された団体で、古来から地域に伝わる「虫送り太鼓」を基礎に持っています。荘厳で美しい「霊峰白山」、豊かな自然の恵みをもたらし、かつては暴れ川と呼ばれた「手取川」、そして勇壮な「手取の火祭り」など、地元・川北町の自然や文化を太鼓の音色で表現します。その一音一音には、水害で亡くなった人々への鎮魂の意味と、太鼓の響きが聴く人々に感動と希望を与えるという強い願いが込められています。

「手取の火祭り」は大小の桶胴太鼓を使ったアンサンブル形式で、スローテンポで鮎が飛び跳ねる様子を表現しています。大桶胴太鼓のソロパートにご注目ください。

「まつり」は笛の音色に合わせて大桶胴、桶胴、担ぎ桶の各パートが軽快に打ちます。

# 30 葫蘆墩 Smile 太鼓團

台湾



演奏曲

たい わん でん せつ  
台湾傳說

代表者：馮韻怡

張育豪 / 劉迦勒  
陳建叡 / 張家捷  
楊仁佑 / 陳雯翔  
蔣秉癩 / 林詠崴  
陳婉綺

太鼓の良さを子ども達に体験してほしいとの気持ちで2002年に設立され、他人への思いやりや団体意識の向上を目指しています。

毎年開催される台湾太鼓ジュニアコンクールでは5度優勝しており、2023年3月に開催した第25回日本太鼓ジュニアコンクールでも、台湾代表として出場し、実力を発揮した素晴らしい演奏を披露し上位入賞を果たしました。

今回演奏する曲「台中傳說」は、日本太鼓に熱意をもって太鼓に打ち込む台湾太鼓協会会員のために日本太鼓財団 長谷川義会長が台湾太鼓協会の合同曲として作曲されました。ゆっくりとした打ち込みから早打ちに変化しますので、特にご注目ください。

31

まつもととしはるか が たいこ むげん  
松本敏春（加賀の太鼓「無限」） 石川県



演奏曲

むげん か が  
無限加賀のひびき

代表者：松本 敏春

島田 将嘉／西藤 敏幸

1949年、北海道増毛郡増毛町雄冬出身。1964年に石川県小松市で就職し、秋まつりで加賀太鼓を見て会社に「太鼓クラブ」を創部しました。1967年、加賀温泉郷の旅館で年間約1,500～1,700回の舞台に立ち本格的に加賀太鼓の技術を習得します。1970年北陸三県太鼓打大会で優勝し、また、2018年には第15回日本太鼓シニアコンクールで名人位に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞しました。

「無限のひびき」とは太鼓に対して斜め（七・三）に構えることで力が入った音が出せる加賀太鼓の打法を駆使した曲で、鮮やかなパチ捌きをご覧ください。

笛を使用した曲が3、4曲の変化を見せるとともに太鼓も変化していくところが加賀太鼓の良さを表現できるように日々精進しています。



# 32 橘太鼓「響座」ジュニア

ゲスト団体  
宮崎県



演奏曲

たびだ あっせんふる  
旅立ち/assemble

代表者：岩切めぐみ

後藤 瞭来／竹ノ内倫生斗  
久米田晃法／杉尾 里菜  
本多 澄海／大村 朋希  
井田 詞也／二見 彩音  
二見 莉旺／森田 大翔  
永山 勇太／大西 凜音  
大隈 瑠貴

宮崎市に拠点を置く橘太鼓「響座」のジュニアチームとして2005年に結成されました。現在は、2012年からソロ活動を開始した岩切響一代表の指導の下、常に進化を求めて和太鼓の音色を追求しています。

1曲目「旅立ち」は第25回日本太鼓ジュニアコンクールの課題曲です。日本太鼓財団 長谷川義会長が新型コロナウイルスに負けずに、新たな時代に向かって進めるよう願って作曲されました。

2曲目「assemble」は岩切代表作曲で、テーマはリズム遊びです。音のダイナミクス（強弱）で展開して、ソロパートを控えチームワークを活かすように作られた曲です。

同チームは2023年3月19日石川県金沢市で開催された「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」で、見事5回目の優勝に輝き内閣総理大臣賞を受賞しました。

# 33 銚子はね太鼓保存会

ゲスト団体  
千葉県



演奏曲

うみひめだいこ ちょうし たいりょうふし ちょうし だいこ  
海姫太鼓／銚子大漁節／銚子はね太鼓

代表者：宮崎 義政

長谷川 勇／越川 昭一  
小堀 竜一／多田 淳一  
三浦 一泰／田村 孝秀  
渡辺 勝己／多田 香織  
竹之内恭代／大澤 実希  
酒井 彩花／多田 桜子  
多田 桃子／立原 萌楓

銚子はね太鼓保存会は、1975年1月に太鼓好きの有志6人が集い、「銚子の祭り太鼓」を地元だけでなくより多くの場で披露し、太鼓の可能性を追求することを夢みて発足されました。はね太鼓とは、港町銚子のお祭りで神輿を先導する祝いの太鼓です。

1曲目「海姫太鼓」は、女子による一人打ちのはね太鼓で、規則的な音と動きの重なりで、刻々と変わる魚の群れの様子を表現しています。

2曲目「銚子大漁節」は、千葉県の民謡で、江戸時代末期に豊漁を祝うために作られました。銚子の文化的な伝統芸能として、お祝いの場で披露される曲です。

3曲目「銚子はね太鼓」は、喜怒哀楽すべての感情を表現しています。曲の流れを決めずに、お互いの呼吸を感じ取り、格闘技のように演奏者それぞれが太鼓を打ち込みます。

## 34 か も つな むら だい こ 加茂綱村太鼓

ゲスト団体  
宮城県



演奏曲  
さんさじぐれ / 十三夜 / すずめ踊り組曲

代表者：及川 文男

及川あけみ / 小松はるみ  
梅川 夏美 / 大山 芳乃  
佐藤 綾子 / 大庭 優子  
大庭 直緒 / 大庭 真心  
渡辺久美子 / 渡辺 彩乃  
坪江 文枝 / 坪江 輝士  
中山 貴文 / 高橋 操  
柳 彩芽

伊達家第四代藩主「伊達綱村」公が仙台市泉区にある「加茂神社」を遷宮したことから名前を取り、1996年に発足されました。宮城県内外をはじめ、これまでに海外9カ国でも演奏活動を行っています。

繋ぎ太鼓の「さんさじぐれ」は祝いの席で踊ったり唄ったりされる宮城県民謡を篠笛の二重奏にアレンジしました。

1曲目「十三夜」は月明かりの元で暮らす人々の情景を、篠笛の二重奏と十三拍子という少し変わったリズムで表現しました。

2曲目「すずめ踊り組曲」は青葉城築城の宴席で、伊達政宗公の前で石工達が即興で踊ったとされる「仙台すずめ踊り」にオリジナル曲等を加えてステージ曲として構成されました。

1曲目から2曲目に移る際に少し演出を加えているため、お客様に楽しんでいただけたら幸いです。

## 35 ぎ ふ けん たい こ れん めい し し かい 岐阜県太鼓連盟 獅子の会

ゲスト団体  
岐阜県



演奏曲  
鼓 楽

代表者：早川 貴将

保母 幸太 / 杉山 朋子  
和田 正人 / 羽土 聡  
高島 奈々 / 鈴木 崇  
秋柝 健太 / 石田 さや  
安藤 美里 / 西野 裕美  
和田 順子 / 佐藤千加子  
奥田 由美 / 秋柝 美紀  
高木 風雅 / 鈴木 悦子

太鼓団体同士の繋がりが少ない状況で、その環境を払拭するべく岐阜県太鼓連盟 和田正人会長をはじめとする理事の総意の下、各団体の壁を取り除き、会員同士の親睦を慈しむことを目標として2015年設立しました。愉快で真剣で思いやりをもった個性豊かな太鼓好きの集まりです。

「鼓楽」は、仲間が集まり個々の技術を高め合いながら、太鼓を純粋に楽しむことをモチーフにしています。篠笛と大太鼓のソロパートから始まり、曲が進むごとに演奏人数が増えていき、一体感のある壮大な躍動感を生み出していきます。

有志の集まりのため揃いの衣装はありませんが、気持ちを1つに打ち込み真剣さの中にあふれる楽しさをお届けいたします。

# 36 高野右吉と秩父社中

ゲスト団体  
埼玉県



演奏曲  
ちちぶやたいばやし  
秩父屋台囃子

代表者：高野 右吉

高野 正剛／加藤 武信  
永谷 公亮／千島 良太  
清野恵一郎／鳥海 秀夫  
金澤 修／新井 孝和

先代高野右吉が埼玉県より無形文化財秩父屋台囃子保持者に指定され、打法を次代に伝えるために1954年に設立されました。

秩父屋台囃子の由来は文献がないため正確なことは不明ですが、口碑伝説の1つによると大阪城築城の際の「石びきばやし」と称した囃子で士気を鼓舞したものが秩父に伝承されたと伝えられています。

国指定重要文化財に指定されている約20トンの山車が常時前進するときに、長胴太鼓を中心に打ちます。町角で方向転換するとき等は、長胴太鼓は休んで締太鼓による「玉入れ」又は「ころがし」という曲を打ちます。

本来、山車の中は長胴太鼓1台、締太鼓3丁、笛1本、当り鉦1個ですが、今回はアレンジして長胴太鼓を4台に増やして山車がお旅所に集まったときのようにぎやかさをお届けします。

# 37 豊の国ゆふいん源流太鼓

ゲスト団体  
大分県



演奏曲  
ゆふ げんきょう  
由布おろし／源響  
こうじょう つき てん ち げんりゅう  
荒城の月／天地源流

代表者：長谷川 義

長谷川 準／富永 希一  
恵藤 良太／小出 翔五  
藤田 桜／阿南 晴大

長谷川義代表を中心に1979年に発足しました。派手なパフォーマンスは一切なく、ただひたすら打ち抜くスタイルを結成以来、守り続けています。その根本は、由布の町を見下ろす峠の空き地での、毎夜毎夜の練習にあり、それは現在まで続けられています。そこから生み出された打法とリズムは現在の創作太鼓の「源流」となっていて、ノンプロ創作太鼓チームの頂点と言えます。

長谷川代表による大太鼓はプロの太鼓打ちが一目置くとされ、2021年度第18回日本太鼓シニアコンクールで名人位、内閣総理大臣杯を獲得しました。メンバーはそれぞれ本業や学業を持ちつつ鍛錬を重ね、国内外を問わず和太鼓の浸透と発展に努めています。

豊の国ゆふいん源流太鼓は大分県由布市の無形文化財に指定されています。

# 公益財団法人 日本太鼓財団 2023年度の主な事業活動予定

## ■ 日本太鼓ジャンボリー 2023(終了)

期 日：2023年5月27日(土)  
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)  
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部  
出演団体：11団体

## ■ 第8回大学太鼓フェスティバル(終了)

期 日：2023年8月25日(金)  
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)  
共 催：大学太鼓連盟  
出演団体：12団体

## ■ 第25回日本太鼓全国障害者大会(終了)

期 日：2023年10月1日(日)  
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)  
共 催：社会福祉法人 富岳会  
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部  
出場団体：21団体

## ■ 第20回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2023年11月19日(日)  
場 所：輪島市文化会館(石川県輪島市)  
主 催：2023 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、  
公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、  
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社  
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会  
出場団体：30組程度

## ■ 第26回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2024年3月24日(日)  
場 所：大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)  
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団埼玉県支部  
出場団体：50団体程度

## ■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

日本太鼓全国講習会

第70回日本太鼓全国講習会 2023年8月26日(土)・27日(日) 福島県須賀川市(終了)

第71回日本太鼓全国講習会 2024年2月24日(土)・25日(日) 熊本県宇城市

## 公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4月 1日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 46支部(42都道府県)

<加盟団体数> 約670団体

<会 員 総 数> 約18,000人

<理 事> 会 長 長谷川 義 全九州太鼓連合名誉最高顧問

理事長 大澤 和彦 常 勤

副会長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表

常務理事 佐々城 清 常 勤

理 事 浅野 昭利 (一財)浅野太鼓文化研究所理事長

理 事 石井 幹子 (株)石井幹子デザイン事務所代表取締役社長

理 事 中西 由郎 元(一財)日本モーターボート競走会監事

理 事 山内 強嗣 (福)富岳会理事長

<評 議 員> 評議員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長

評議員 岡田 知之 元(公社)日本吹奏楽指導者協会会長

評議員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長

評議員 佐藤 淳子 元(一財)ライフ・プランニング・センター理事

評議員 高島 肇久 (学)津田塾大学理事

評議員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長

評議員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監 事> 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

(五十音順・敬称略)





**日本太鼓財団**  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)